

●とびつくす●

「3年ぶり、活気あふれた阿波踊り」

建築士会まちなみ連 松本 萌

今年阿波踊りが3年ぶりに開催されました！コロナ感染症の拡大で移動やイベントの開催が休止されてきましたが、今年に入りましてさまざまなイベントが開催される世の中になってきており嬉しい次第です。当日は通常時とあまりにも違う景色、規模の大きさやそれまでの練習も含めて阿波踊りに対する姿勢にとっても驚きました。

さて、私にとってもこの阿波踊りは新鮮な経験がたくさんできた非常に思い出深いものとなりました。というのも、私自身は昨年度まで東京都民、今年から新社会人として徳島県にやってきた身であり、本場阿波踊りを生で見ることも、ましてや踊ることも初めてでした。というかいきなり踊れると思っていませんでした。連に所属したい、女踊りで参加したいと思っていたところ、職場の上司のお誘いでこの徳島県建築士会「まちなみ連」に二つ返事で所属することになったわけです。こんな唐突に来た初心者をまちなみ連の方々には暖かく迎えてくれ、わざわざ男踊りから女踊りに変えて練習時は並んで教えてくれた方もいました。

練習はというと、とにかく想像以上に難しくただただイメージ通りに踊るのが困難でした。そして4回ほどの練習で本番を迎えることに…。

今年「まちなみ連」は14日、両国橋→南内町（有料エリア）という流れで阿波踊りに練り出しました。出発して割とすぐ両国橋付近でゲリラ的に踊り始めたのでしばらくうろたえたのち踊り出したものの、大勢の人&まだ自信ない&羞恥心が抜けきれず、初めの踊りはきっとカチコチだったことでしょう（反省）。両国橋演舞場は最長であり、疲労は半端なかったですがやり切った達成感も大きかったです。

全体を通してちらちらと横を見ながら途中躓きそうになりながらなんとか踊り切ったものの、はたから見たらいかにも素人さんだねえといった動きだったかと思いますが、なによりも皆さんが楽しそうに踊っている様子を

見て、それが一番大事だと感じましたし、阿波踊りは自然とそうさせてくれました。ただ来年はもっとしなやかに踊る、脱素人！と今から意気込んでおります。

また多くの方と関わったこと、今回踊り手としても参加できたことで一層徳島県民らしくなれたことに喜びを感じています。



まちなみ連の皆様、素人で面識もなかった私を暖かく迎えて、ご指導いただきありがとうございました。また来年もお願いできたらと思っています。



●地域会だより●

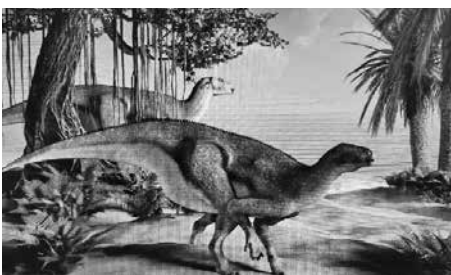
地域の地質を知り活かす防災力

板野地域会 多田 勲

私が住む上板町は、阿讃山地の中央構造線の内帯に属します。和泉層群と呼ばれる白亜紀後期（7000年前）の海生の地層から構成されており、アンモナイトや2枚貝などの化石が産出されます。ノストセラス科アンモナイトが多いようです。今から1億年前に中央構造線の北側が5000mほど沈降し、領家花崗岩帯と四国山地の三波川結晶片岩類との間に東西に細長く伸びる地溝帯の海が造られ、この海底に土砂が堆積して海岸に沿って陸棚と陸棚斜面に堆積した地層を形成しています。この沈降部が現在の吉野川流域に当たります。その後、地殻変動で再び隆起し阿讃山地が形成されました。地質境界線としての中央構造線と活断層の中央構造線とは地表の位置がピッタリ重なるとは限りません。

徳島県勝浦町で発見された前期白亜紀（約1億3千年前）の地層から、国内最古級の竜脚類の歯化石が2018年に発見されました。日本の恐竜化石の多くは、中央構造線の北側に集中しています。中央構造線とは、西南日本の地質を南北に分断する断層帯です。地質的に中央構造線より北側を内帯と呼び、南側を外帯と呼びます。恐竜が生きていた中生代は、日本海は存在せず、日本列島はアジア大陸の東縁にありました。内帯はアジア大陸の陸地が堆積した地層が多く分布し、福井県を始めとする北陸地方から恐竜化石が多く発見されるのはそのためです。西南日本外帯から知られている恐竜化石は、群馬県・三重県・和歌山県と徳島県の4県があります。今回発見されました竜脚類の化石は三重県で発見されている恐竜とほぼ同時代の国内最古級のものと言えます。太古の大陸で生きていた恐竜は、私たち人間より遥かに大きな体を持ち、長い年月地層の中で眠っていた恐竜たちが化石に姿を変えて私たちの前に蘇りつつあります。

中央構造線は白亜紀当時から活発に断層運動をしており、外帯は現在の位置より数百キロ以上南方にあったと推定されています。約1億3千年前には、南北海道・東北・東日本・



イグアノドン想像図

紀伊半島・四国の南部・九州中部が一塊として東北方向に移動していました。現在の九州北部の南側に、日本列島の南半分の南北海道を頭に九州中部までがあったとする説もあります。そしたら、徳島県の勝浦町は当時だと台湾付近にあったかもしれません。1000年に10m程度程動いていたようです。1億年で1000kmの大移動になります。

私の自宅は私が小学校4年生の時に鉄筋コンクリート造で建てられました。基礎の栗石に阿讃山地の岩石で敷きこまれました。地元の碎石場では、和泉砂岩層より古代アマモの化石が沢山採れていたようです。かすかな記憶ですが、アマモ化石を埋めた柱基礎がよみがえります。町の歴史民俗資料館にあるアマモの化石とそっくりでした。

2016年4月に震度7が2回発生した熊本地震は、中央構造線上で起きた地震活動です。西南日本を縦断する



阿讃山地の400m付近泥岩層

断層帯が今後の「中央構造線」に何らかの影響が出ないことを祈りたいです。上板町でも有史以来ずっとこのような断層のず

れによる地震活動は続いていると思います。現行の耐震基準では、地震発生時に建物の倒壊を防ぎ、人命を守るためのものです。避難所の指定物件が継続的に使用できるかが今後の安全対策として大切な問題となります。公共施設はもう一段レベルの高い基準が必要となってくるでしょう。耐震性能を表す指標にIs値があります。地震力に対する建物の強度やじん性(変形能力や粘り強さ)が大きいほど、Is値も大きくなります。つまり耐震性が高くなると言えます。建物形状とバランスが悪い場合や、建物の劣化が激しいとIs値が低くなります。

現在私は地元の防災士会と自主防災組織の活動をしています。地域の地層等を知ること、地震に対する安全対策を皆で相談し合い、今後の大地震に備えていきたいと考えています。

●あなたが出番●

「彩り」

阿南・那賀地域会 岡本 充律

<夏の日の1993 2020>

「お父さん、犬を飼いたい。俺、生半可な気持ちでないけん！」と懇願する息子に根負けし、我が家に愛犬マメが仲間入りしたのは昨年のこと。それから半年も経てば、案の定息子はろくに散歩にも行かなくなった。

「お父さん、朝活に付き合っ。私ダイエットするけん！」というのは高校生の娘。つい最近のことだ。年頃の娘からの誘いに気をよくした私は、毎朝早起きして娘のウォーキングに付き合い始めた。しかし一週間も経てば、案の定娘は寝坊が続き、遂には行かなくなった。

もう絶対に子ども達の言うことは信用しない、そう心に決めた夏の日の2020。現在、朝活しているのは1歳になったマメと私だけだ。なんだかやるせない気持ち。でもいいこともあった。それは散歩中いろんな発見ができたことだ。例えばテトラポットしかない殺風景な海岸。その水平線から昇る太陽はとても眩しく、活力を与えてくれる。また時には紫陽が咲く鮮やかな道で心癒されることも。いつも餌をくれるおじさんに、笑顔で挨拶してくれるおばさん。名前も知らない人と顔を合わせる朝の散歩は、今では自分の楽しみとなりつつある。歩幅を合わせて歩きながら時折顔を上げ、笑顔で見つめてくるマメ。・・・かわいい奴め。犬は裏切らない、そう知った夏の日の2020、ohマメに夢中。私とマメの朝活は、夏が終わっても続きそうだ。

これは2年前地元の広報誌に載った文章である。この度阿波まちかどの原稿を依頼され、自分のPCをあさって見るとなかなか面白い記事だなと目に留まった。しかし昔流行ったclassの「夏の日の1993」という歌がわからなければ何のことだか分からないだろうと思いつつも、時間もないので改めてそのまま今回は引用したというわけだ。

現在はどうかというと、3歳になった愛犬マメとの朝の散歩はあの頃と変わらず私の日課となっている。朝のこの一人時間が案外貴重であり、仕事はもちろん家族のことや将来のことを誰からも邪魔されず集中して考える時間が持てるのだ。時折ベンチに座って愛犬のブラッシングを試みたり、近所の方と世間話をすることもある。有意義な朝活が日常となったのも、子ども達の気まぐれの賜物だと感謝している。



動物ネタでいうともう一つ。実は猫も飼い始めた。というか自社の倉庫に生まれたたの猫が数匹。翌朝覗いてみるとなぜか一匹の子猫だけが残されていた。可哀想に思った妻が保護して早2年。その1年後には息子がもう一匹猫

を連れてきて、今や犬1頭、猫2匹と暮らす生活となった。子ども達も成長し親元から離れていくと、動物と暮らすことの魅力を改めて体感している。文句も言わない動物たちは日々の癒しだ。



散歩したり一緒に寝たりと、もう老夫婦かと思うような生活だが、そんな私も人生折り返しの44才。まだまだやりたいことはたくさんある。動物たちとの日常が私の世界を豊かにしてくれたように、なんてことのない作業がこの世界を回り回って、どこの誰かも知らない人の笑い顔を作ってゆく。建築に携わる人として、そんな確かな生き甲斐を見つけて、人生に彩りを加えられたらいいなど、精進する日々は続く。

●行政だよりー徳島市●

長期優良住宅の認定基準の見直し

令和4年10月1日から徳島市では長期優良住宅の認定基準に「自然災害による被害の発生防止又は軽減に配慮する基準」を追加しました。次の区域に建築する住宅は、認定できませんので、ご注意ください。詳しくは市ホームページをご覧ください。

- ・地すべり防止区域
- ・急傾斜地崩壊危険区域
- ・土砂災害特別警戒区域

なお、各区域については「徳島県水防・砂防防災マップ」により調べることができます。



●士会だよりー本部●

建築技術者向けセミナー

ポリテクセンター徳島では、建築技術者向けに次のセミナーを予定しています。

○ 令和4年度 能力開発セミナー

■ 建築施工管理方針策定実践技術

施工計画・施工管理の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた施工管理実習を通して、施工管理技士に必要な知識及び技術を習得します。

日 程

令和4年10月17日(月)～11月4日(金)

計15日間(土・日を除く)

実施時間 18:00～21:00

受講料 27,000円(税込) 定員10名

○ 居住・建築セミナー

■ 実践建築設計2次元CAD技術

■ 在来木造設計実践技術

■ 実践建築設計3次元CAD技術

日 程 12月3日(土)・4日(日)

実施時間 9:10～15:55

受講料 9,000円 定員10名

●士会だよりー本部●

建築士会ホームページにおける「会員の方へ」のページ活用のご案内

士会ホームページは昨年にリニューアルし、現在運用しているところですが、会員専用となる「会員の方へ」のページを開設しております。

建築士会本部行事

令和4年10月		令和4年11月	
6日(木) 理事会	(建設センター)	1日(火) 既存住宅状況調査講習会	(士会会議室)
9日(日) 一級・木造建築士試験(製図)	(建設センター)	9日(木) 建築相談	(士会会議室)
12日(木) 建築相談	(士会会議室)	10日(木)～11日(金) 中国四国ブロック職員会議	(高知県)
14日(金)～16日(日) 建築士全国大会本部ツアー	(秋田県)		
20日(木) 監理技術者講習	(士会会議室)		
21日(金) インボイス制度セミナー	(建設センター)		
23日(日) 建築甲子園 徳島大会	(四国大学交流ホール)		
25日(火) 親睦ゴルフ大会	(サンピアGC)		
26日(水) 建築相談	(士会会議室)		

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

掲載内容は、「地域会名簿」「支部役員名簿」「徳島県建築ときわ会」「建築士会まちづくりハウス」「阿波まちかどバックナンバー」「まち研だよりバックナンバー」です。なお、「地域会名簿」「支部役員名簿」は更新し、各自での製本にも対応できるようにしております。

パスワードは本部又は支部事務局までお問い合わせください。(パスワードは会員外へ教えることはご遠慮ください。)パスワードは一定期間を過ぎますと更新する場合がありますので、その際には支部事務局へご連絡させていただきます。

女性からも建築のプロからも大学生からも
No.1の評価を獲得!

建築士講座
顧客満足度
No.1

日建学院 徳島校 TEL:088-622-5110

災害から大切なものを守る屋根。

新登場
エアルーフ
ZEN ゼン

日本古来の波型瓦を現代の技術で高性能化

衝撃に強い!
軽量!
高密着!
高防水性能!
耐久年数30年以上!

フジスレート株式会社

[本社] 徳島県板野郡北島町太郎八須字新開1-32
☎0120-024-778 https://fujislate.com/

編集後記

- ・今月の俳句(連載しません)
- 朝顔は左巻きなり我もまた (ノーリツ号)
- ・私の目は右かゆしまた (耐西)
- ・夏が続きそうですね、まだ (ちりめん)
- ・ほんまにまだまだ暑いよね (ぺべい)
- ・秋深き 隣の客は 柿食う客だ (ひとはたうさぎ)
- ・やばいよ!やばいよ! (子持ちししゃも)

発行所

公益社団法人 徳島県建築士会

〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地
建設センター5F

[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710